

## 認知症に関する活動計画（概要）

神奈川県作業療法士会では2015年度から認知症対策委員会を設置し、会員に対する知識向上や関連団体・機関との連携を深める活動を続けています。

今年度は会員向けの研修会を年2回開催予定で、認知症を取り巻く社会情勢に合わせて作業療法士ができることを考えていく予定です。

県内にある本人・家族会との連携や地域活動にも積極的に参画できるように、活動部員の拡大を図っていきます。

## 認知症啓発事業

認知症対策委員会の部員が運営に参加している『RUN伴+三浦半島』の活動に県士会として後援しています。

また、認知症のイメージカラーであるオレンジ色の県士会ロゴマークを作成し、アルツハイマーデー月間の9月中に行われる県士会イベントや刊行物にはこちらを使用して広く認知症の理解を啓発している。



『RUN伴+三浦半島』の様子

## 認知症本人・家族会との連携事業

県内にある認知症関連団体とつながりを持ち、若年性認知症を含む本人・家族会の活動に部員を派遣して参画してきました。コロナ禍で活動が中断されてきましたが再開を図っていきます。

また、ご家族向けに「家族支援プログラム」として認知症のリハビリに関する講演を行っています。



県士会ロゴマーク オレンジVer

## 研修会事業

県士会員の認知症に関する継続的な知識向上を目的とする研修会を年に2回開催しています。例年行っている基礎的な評価・介入方法を学ぶ「アップデート研修」に加えて、認知症に関する制度や共生社会に向けた地域の実態を知る「地域づくり研修」というテーマで開催計画しています。

## COVID-19の影響・対応など

研修会事業に関しては2021年度からすべてオンライン開催で活動を継続しています。県内各地で啓発活動や集会などのイベントが対面型で開催されるようになってきていますが、県士会からの部員派遣は現在活動を中止しており、新規部員の拡大に加えて部員所属先における対外活動参加要件の把握を進めています。